



ふるさとに緑の山を

ボランティアグループ川西会（緒方進会長）が3月7日、笛吹ダム上の原石山（ダム土取場跡地）で植樹を行いました。

これは、ながさき森林環境税による「ながさき県民参加の森林づくり事業」を活用したものです。

植樹には上志佐小と志佐小の5～6年生の児童、保護者など約100人が参加。同会員があらかじめ掘っておいた穴にクヌギの苗約800本を植えました。

植樹を行った5年生の長田拓哉君（志佐・赤木）は「木をまっすぐ植えるのが難しく、きつかったけど楽しかった。木が大きくなったらカブトムシなどを捕りに来たいです」と話していました。

鷹島でリレーマラソン

第1回鷹島町リレーマラソン大会（市体育協会鷹島支部主催）が3月7日、鷹島ダム周回道路で開催されました。

町民の体力増進と参加者相互の親ほくなどを目的に、初めて開催されたもの。1周1.2^{キロ}の鷹島ダム周回道路を10周し、順位を競います。1人最低400^{メートル}ずつ走り、同じ人が休んで再びタスキを受けることもできる特別ルールで行われました。

大会には小学生の部4チーム、一般の部10チーム約150人が参加。多くの観客の声援を受けながら、選手たちは笑顔でタスキをリレーしました。

上位の順位は次の通りです。

【小学生の部】

- ①鷹島ホークスA ②鷹島少年剣道クラブ
- ③鷹島陸上クラブA

【一般の部】

- ①第25分団 ②里・石川26 ③JAながさき西海



事故を想定し訓練

多数傷病者発生事故想定訓練（松浦地区消防組合消防本部、唐津市消防本部主催）が3月4日、開通を控えた鷹島肥前大橋で開催されました。

同大橋が開通すると、両消防署は相互応援協定を結び、互いに協力して消防・防災活動を行います。この日は、橋の上で3台の車がバイクを巻き込んだ事故を起こし、多数の傷病者が発生したことを想定し、通報から救助までの訓練を行いました。

訓練には、両消防署や松浦警察署などの関係者約70人が参加。救助用の機械で車のドアをこじ開け、中に閉じ込められた人を救助する訓練などを行いました。



卒業50周年を記念して植樹

志佐中学校昭和34年卒業生（世話人代表山本浩平さん）が3月7日、卒業50周年を記念して不老山総合公園のバーベキュー広場に大島桜5本を植樹しました。

昨年の同窓会で植樹をしようと山本さんが提案。10月から同窓生に募金を呼び掛けました。

この日は同窓生7人が、遠く離れた同窓生のふるさとを思う気持ちも込めて丁寧に植樹しました。山本さんは「不老山を訪れた人に桜の花を楽しんでもらいたいと思い、不老山に植樹しました。遠く離れた同窓生も桜を見たいという帰る楽しみができるのではないのでしょうか。今度はこの場所で同窓会をしたいですね」と話していました。





松浦の原料で作った焼酎などをPR

有限会社酒の一斗（池野晋一代表）が3月19日、市役所を訪れ、地元の原料で作った焼酎「つんなもや」などをPRしました。

同社は昨年から地元の芋を使用した芋焼酎を販売。今年は松本健嗣さん（御厨・中野、51）が作った二丈大麦けんじを使って、島原食料で製麦乾燥、梅が枝酒造で仕込んだ麦焼酎「つんなもや」と「斗和」を3月14日に新発売しました。

池野さんは「皆で一緒にいこうやという意味の『つんなもや』という名前には、生産者・造り酒屋・店・消費者が手を取り合ってつくり、飲んでいこうという願いが込められています。9月には県の推奨品指定を受けました。今後、市の特産品となるようPRしていきたいですね」と話しました。

この日は、芋焼酎の原料の紅寿、紅吾妻を生産する福守かずはるかずはるさん（御厨・小船、82）と松田守幸さん（御厨・西木場、74）も訪れ、「出来上がった焼酎を目の前にして、夢がかなったことを実感しています」と喜んでいました。



おてや 落合の洞窟で彼岸行事

志佐町赤木地区にある落合の洞窟で3月20日、無病息災を願う彼岸行事「おこぼ様」が行われました。

「おこぼ様」は「弘法様」がなまったものといわれ、毎年、同地区の彼岸行事として受け継がれています。

洞窟は高さ約2メートル、幅約30メートル、奥行き約10メートル。入口には弘法大師が祭っており、奥には40体以上の地蔵が並んでいます。

この日は、ろうそくの明かりに照らされた洞窟に参拝者が訪れ、無病息災を願いました。

感謝の歌声響く —サンキューこんさあーと—

松浦少年少女合唱団（八谷博子代表、22人）と御厨中学校吹奏楽部（福田敬子、山口菜海顧問、12人）が3月15日、御厨公民館で第2回サンキューこんさあーとを開催しました。

同コンサートは、同合唱団と同吹奏楽部の保護者が、周囲の人への感謝を込めて昨年から開催しているものです。

この日は、「長崎県の子ども」などの合唱や「涙そうそう」などの演奏、ミュージカル「もちもちの木」などを披露。集まった約120人は、日ごろ耳にすることの少ない合唱と吹奏楽の生演奏に興味深く聞き入っていました。コンサートの最後には合唱団、吹奏楽部、観客が全員で「ふるさと」などを歌いました。



定額給付金の受付始まる

本市でも定額給付金の受け付けが3月16日から、本庁、福島支所、鷹島支所など7カ所で始まりました。

この給付金は、住民への生活支援と地域の経済対策を目的に支給されるもの。基準日の2月1日に住民基本台帳に記録されている人、外国人登録原票に登録されている人（不法滞在者および短期滞在者は対象外）が申請すると1人につき12,000円（ただし、基準日において65歳以上の人および18歳以下の人については20,000円）が支給されます。

初日は1,324件の申請がありました。申請は土・日・祝日を除き、9月17日の最終受付締切まで、郵送または窓口で受け付けられます。

